

町会連合会長
就任あいさつ波田地区町会連合会
会長 齋藤 章

この度、令和7年度波田地区町会連合会長に就任いたしました、4区町会の齋藤章と申します。

職責の重さに身が引き締まる思いですが、皆様と手を携えつつ、意見を吸い上げながら一歩でも前へ進められればと思います。一年間よろしくお願ひします。

近年は人と人、町会と町会、行政と町会、これらの絆が徐々に薄れていくことが危惧されています。町会連合会の役割は、地域づくりセンター、公民館、福祉ひろば、各団体が町会それぞれをつなげる潤滑油になることであると思いま

館報
はだ

令和7年5月1日現在

世帯数	6,442戸
人口	15,134人
男	7,331人
女	7,803人

す。以下にも述べますが、ハード事業や課題など波田地区が大きく変わろうとしております。状況を注視するとともに、町会連合会としての役割を果たせるよう努めて参ります。

ここからは、そのための私の希望をお話します。

まず、波田地区には生き生きと輝くまちを目指し、地区住民が主体となっている「波田まちづくり協議会」が設置されています。4部門に分かれて活動していますが、住民の方々の参加が少しずつ増え

ていけばありがたいです。

また、老若男女の心の拠り所である福祉ひろばや、各種団体・サークルの発表の場である波田文化祭など、皆が集う語らいやふれあいの場所があります。絆づくりの機会を創出できるよう、協力していきたいです。

そして、生きがいある高齢者福祉充実のため、包括ケアシステムがあります。高齢者が住み慣れた地区で暮らし続けられるように、少しでも前

へ進めていきたいです。できることから一つずつでも充実させたいものです。

さらに、万が一災害が起きた際に、地区内に11ヶ所の避難所が指定されていますが、避難訓練や避難所運営委員会の充実など、課題が盛り沢山です。地区全体、町会内含め、課題を少しずつでも解決していきたいものです。

ハード面では、中部縦貫自動車道の建設、扇子田運動公園の移転、波田駅周辺整備、市立病院の移転、それに伴う中央運動広場の移転など、いくつかの大きな事業が進められています。こちらについては進捗状況を注視しながら見守りたいと思います。

色々と希望を並べてみましたが、実行には皆様との話し合いを重ねるなど、地道な努力が必要です。そして、皆様の協力も必要となります。

微力ながら人と人とを繋ぐ役目に徹し、それぞれの意見を聞き、波田地区のために努めてまいりますので、どうかよろしくお願ひいたします。

波田小学校長
就任あいさつ波田小学校
校長 平林 明彦

本年度より、松本市立波田小学校でお世話になっております平林明彦と申します。

前任校は下伊那にあります喬木村立喬木第二小学校です。松本での勤務は20年目となります。早く波田の地に慣れ、子どもたち、保護者の皆様、そして地域の方々のお力になれるよう努力いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

私自身が小学生であった頃、私の家は公民館でした。正しくは、公民館の管理人をするかわりに住まわせていただいていたというのが本当のところ

です。毎晩のように、地域の方々が公民館にやってきて、何やら会議をしたり、時にはお酒の匂いをさせながら「あきちゃん元気にしているか」と私に話しかけて来てくれたりし

たことを思い出します。

また、公民館の前には広い庭があり、そこにみんなで集まり野球をするのが私たちの日課でした。庭にあるフェンスを越すホームランを打った時には、おいしい時間が待っていました。そこには近所のおじいちゃんが育てるトマト畑。「ホームランを打ったら、トマト、食べていいぞ」というじいちゃんの温かい言葉に甘え、口いっぱいトマトを頬張ったことを今でも鮮明に覚えています。地域の皆さんの全てを包みこむような温かい眼差しが、私たちを育んでくれたこと、今でも感謝しています。

時代の移り変わりとともに、そのような場所や機会は少なくなっているかもしれませんが、形を変え、給食配膳や家庭科のボランティア、登下校時の付き添い等、地域の方々の温かい眼差しは、今でも子どもたちの育ちを見守ってくれています。

波田小学校教職員も、地域の方々と同じ「波田の子どもは波田で育てる」という思いをもち、子どもたちの成長のために精一杯努めてまいります。これからもどうぞよろしくお願ひします。



歌声いっぱい公民館



若澤寺親子遠足

波田公民館では、一年を通じて様々な講座を開催しております。

「気になるな」、「楽しそうだな」と少しでも思いましたら、一歩踏み出して参加してみませんか？



チャレンジフェス in HATA



書道講座



歴史講座(真光寺遺跡について)

また、扇子田運動公園と言えど「ボルダリングの壁」です。幅が広く反り返しのある壁



「芝生広場」は周囲をゴムチップ舗装と思われる施工で歩道が造られ、歩道脇にはベンチがいくつか設置されており、広場の中を見ることができるようになっています。遊具は滑り台と雲梯、アスレチックがあり、はしゃぐ子どもたちの姿が想像できます。

移設を機に「芝生広場」「スポーツ広場」「RCカーコース」の3ヶ所に分けて3ヶ所になりました。(著者の勝手な言い方です。)



完成したら家族みんなで山遊びしたいと思います。



「RCカーコース」は現在進行形で工事が進められており、全体の完成は11月頭頃になりそうです。



が。運動不足の大人には少し難しそうですが、人目がないときにこっそり挑戦したいと思います。

「スポーツ広場」にはバスケットコート2面とスケートボード場、テニスの壁打ちエリアがあります。ハードコート1面とスケートボード場は現在開放されているので、既に利用できます。

心地よい季節で外に出る機会も多くなりますが、熱中症になりやすい季節でもあります。日頃から体調管理を怠らず、お出かけの際には、こまめな水分補給など熱中症対策も忘れずに。



通勤途中に窓から見える小さな背中に、大きなランドセルを背負う1年生の姿も微笑ましいものです。

人々の動きや田んぼに畑、桜の花や桃の花、この季節の小さな幸せを感じる一つではないでしょうか。

4月になり、道や山には桜が咲き誇り、肌感じる風は暑さを感じ、夜には肌寒さもある春という季節は、日本特有のものではないでしょうか。

